

自蹊庵便り

令和二年 弥生

NO 142

〳 輝きはしずまりのなかにあり 〳

今年も無事暁の茶事を終えました。

京都は大徳寺瑞峯院にての暁にございませす。本来は三日間の予定のございましたが、今年は二日間の運びとなりました。

未明午前四時集合が三日間続くということは、連日午前三時には着物を着て通つてこなければならず、となれば二時半には起きなければならず。一日は裏方(台所、水屋)、一日は客という働きを役割分担するには、三日が理想的にございますが、搬入・搬出

・掃除の行程を含めますと五日間を要します。スタッフも、遠方から御参加の研修生も、皆々 齢^{よわい}を重ねてきております。ここは正味二日間の暁を…の判断にございます。やり続けていることは、まだまだできるような気でいたことも、このように僅かずつながら、年々よる年波との折り合いにこ

ございます。

それにいたしましてもお人が育つということは拙いながら亭主を勤めさせて頂いております吾にあらず、茶事にもあらず、瑞峯院に真夜中の三時半にまいりますと、お水屋、茶室ともにすでに温かく暖を調べてくださり、長い廊下を拭き磨きあげ、露地、蹲踞に至るまでたつぷりと水を含み、深いしずまりの中、残月に輝きを放ち、気が満ちております。

あゝ、この清しい空気を一人でも多くの皆様に吸っていただきたい、人が育つ瞬間とはこういう事ではないのか…。この澄んだ透明な空気を一度でも、多く吸うことにあるのだ…。深いしずまり有りてこそ放つ輝き、語彙の乏しい私^{わたし}には讚えようもなき、宇宙の一コマの存在にございます。この尊い時のつむぎは、朝まだき中を継

道御住職が調べてくださり、素足にて磨き込まれていらっしやる、その上を歩くのさえもつたいなく、廊下にも露地にも涙落つるここにございました。

誠に深いしずまりにこそ、輝きはあるのだ…と、そして、その輝きにこそ、人が育つ芽吹きがあることをこの清しい空気の一瞬一瞬を吸わせて頂くことにあつたのだ…と。

深奥更なる深きところよりのお導きによりましようか、常に身に余ることながら、研修生共々、瑞峯院余慶庵を道場として使わせて頂くことの縁^{えにし}に深く深く感謝申し上げます。共に学び、共に育てて頂く神聖な場に誘^{いざな}われ辿り着きました先にあるものは唯々、一日でも多く、皆さまと共にこの尊いしずまりのなかより生れ出^あずる輝きの中で呼吸をし、育んでまいります一服一

服となりますよう、そのことのみを祈念いたしております。

学ぶ資格というもの、自己修練も裡なるもののみならず、厳しい舞台あつてのことと有難く、廊下にて露地にて、涙落つる日々でございます。茶事を通して共に修行する研修生の皆様もきつと同じ思いであるからこそ、遠方よりの御来庵と存じます。

さあ！新しき年度四月より令和三年三月までの一年、あと三年で八十のよわい齢に手が届く身でございます。一年一年目標をもつて共に歩んでまいりたいと存じます。

今年度の締めといたしまして、八瀬のまなびやができましたこと、これも京都の皆様様の多大な御尽力の賜物にございます。

瑞峯院にて、魚介を捌いたり、野菜の泥を落としたりするのは、余りにも忍びなく、畏れ多いことでございます、搬入、搬出も観光客やおまいりなさるお客様に御迷惑をおかけいたすのも、心痛めておりましたものがようやく形になったものです。

皆々、スタッフ始め、研修生の皆様、心一つにしての実現にございます。

余慶庵での茶事、八瀬のまなびやでの学習会、皆様と共に更なる精進の一年でありたいと願っております。

令和二年如月吉日 合掌

一 蹲踞は残月写して暁の

庭もろともに青く輝くー

鶴女

教室の御案内 東金教室

弥生の茶事(雛)

三月八日(第二日曜)

三月九日(第二月曜)

三月十日(第二火曜)

席入り 正午〜午後四時終了

点前担当者、水屋実習者 午前九時

八時半に大網駅にお迎えに上がっております。

会費 一万円 (レギュラー者)

一万二千元(単発参加者)

○連日研修者は、翌日は五千円参加です。

卯月の茶事(観櫻)

四月十二日(第二日曜)

四月十三日(第二月曜)

四月十四日(第二火曜)

席入り 正午〜午後四時終了

点前担当者、水屋実習者 午前九時

八時半に大網駅にお迎えに上がっております。

会費 一万円 (レギュラー者)

一万二千元(単発参加者)

○連日研修者は、翌日は五千円参加です。

利休会記を読み解く会(目黒・羅漢寺)

三月二十八日(第四土曜)

四月二十五日(第四土曜)

いずれも

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千円

湯河原教室

口悦会・利休会記を読み解く会

三月十五日(第三日曜)

三月十日六(第三月曜)

四月十九日(第三日曜)

四月二十日(第三月曜)

会費 一日五千円

二日間 八千円

申込は、事務局 服部 宏子様

神奈川県足柄下郡

湯河原町宮下75713

046512015932

柏泉亭(柏グループ) 利休会記

三月二十五日(第四水曜)

会費 五千円

四月二十三日(第四水曜)

会費 五千円

栃木農園レストラン

口悦会・利休会記を読み解く会

三月二十六日(第四木曜)

四月二十三日(第四木曜)

会費 五千円

京都教室

(余慶庵・八瀬のまなびや)

三月八瀬のまなびや基礎料理の会

二月二十九日(土)〜三月四日(水)

在京します

一日・二日 基礎料理

会費 レギュラー会員

一日三千円、二日五千円

単発会員

一日五千円、二日七千円

三日 利休会記を読み解く会

会費 レギュラー会員 千円

単発会員 三千円

大徳寺瑞峯院内余慶庵茶事

四月四日(土)〜八日(水)

在京します

四月四日(土) 準備

四月五日(日) 茶事

席入午前十一時 午後三時終了

四月六日(月) 五日と同じ

四月七日(火) 優食会・片付

茶事教室会費

二万円(レギュラー)

二万三千円(年三回以上参加)

二万五千円(単発参加者)

※連日参加者の会費について、

一日分は正規の会費、

他の日は一日五千円の研修費

となります。